

小児強剛母指に対する装具療法と経過観察を行った後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

1994年1月～2009年6月に当院で小児強剛母指に対して治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

小児強剛母指は、比較的まれな疾患であり、母指中手指節間（以下 MP）関節掌側にいわゆる Notta 結節と呼ばれる腱内結節を触知し、同部における長母指屈筋腱と A1-pulley のサイズ不適合により生じます。その症状は、母指の自動および他動運動で母指指節間（以下 IP）関節の屈曲拘縮（伸展制限）やひっかかりです。

治療方法は、装具療法、手術療法、経過観察が主たるものとして報告されていますが、それぞれ利点、欠点があり議論が残るところです。

当院では、小児強剛母指症例に対して、患者受診、そして診断が得られたのち、両親に病状および経過を説明したうえで、治療方法として、装具療法、手術療法、経過観察を提示しました。病状に理解が得られ、治療方法に対して同意を得て、選択してもらった後、その該当する方法を用いて治療を行ってきました。本研究の目的は、当院における治療法選択、その後の治療成績を後ろ向きに検討し、今後の治療に反映することです。

研究期間：臨床研究倫理委員会承認後～西暦 2020 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、性別、イニシャル、外来受診日、母指 IP 関節伸展角度、治療方法（装具、経過観察、手術）、通院期間 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター

〒534-0021

大阪市都島区都島本通 2-13-22

電話 06-6929-1221（代表）

研究責任者：小児整形外科 細見 僚